

## 多治見高校生の見学会

平成14年10月30日、岐阜県立多治見高等学校2年生の校外研修の一環としてセラミックス基盤工学研究センターの見学会が実施されました。はじめに講義室で虎谷秀穂教授から全体の説明があり、その後には各研究グループの実験室で見学が行われました。終了後、高校生からつぎのような感想が寄せられました。

セラミックの研究が色々なところで役立てられていて、ゴミの問題にも関連付けていることがわかった。

研究室で色々な種類のセラミックを作っているところが見られて良かった。音を吸収するセラミックは、おもしろそうだし、作ってみたいと思った。

話が難しくだいたいではか分からなかった。けれど、実際の現場を見ることができて良かった。あれが、大学の研究所の雰囲気なんだなあと考えた。

色々な研究室を見て回りましたが、中でも印象的だったのが、人口ダイヤモンドやこんにゃく石などの石が見られたことです。

色々な道具がそろっていて、とても驚いた。あと、宝石で、化学記号が同じでも、不純物の入り方が違うだけで、色がぜんぜん違って驚いた。

学生の方々が生き生きと実験していて、それぞれ夢を持っているのがすごいと思った。

こんな近くに最先端の研究をしているところがあるのかと驚きました。それに、1人に1つの研究室があって、それぞれ好きな研究をしているのはとてもあがれました。

